

## 概要

用語集をさらに便利に利用する方法を学習します。実際画面上で、用語を1つずつ登録するのは面倒です。あらかじめテキストファイルに複数の用語と定義を用意しておけば、そのファイルを WebCT にインポートするだけで複数の用語を登録することができます。また、用語集の定義に画像へのリンクを作る方法も学習します。

この Tips は以下の内容を含んでいます。

用語集のダウンロード

用語集のインポート

用語集の定義に画像を含める

## 用語集のダウンロード

WebCT で作成した用語集をダウンロードすると、インポートするファイルフォーマットと同じ形式で作成されます。このファイルを編集してアップロードすることで簡単に間違いなく、複数の用語を登録することができます。

### 準備

今回は、あらかじめ用語集に以下の用語が登録されているものとします。登録の詳細な方法は、別 Tips : 「用語集を活用する」をご覧ください。

- \* キーワード ... 腕
- \* 読み ... うで
- \* 定義 ... 手首から肩までの部分。

### 手順

1. 用語集を編集モードで表示します。
2. 「用語集のダウンロード」の下で、**ダウンロード**をクリックします。
3. ダウンロードをするためのダイアログが表示されるので、指示に従って自分のパソコンの適切な場所に保存します。
4. ダウンロードしたファイルをメモ帳などの文字コードが UTF-8 で表示できるエディタを使って、開いて内容を確認します。

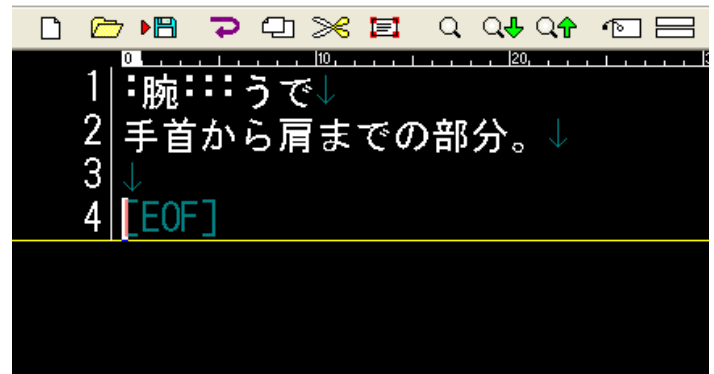


図 1 : ダウンロードしたファイルの内容

### 用語集ファイルフォーマット

テンプレートの詳細は次のようになっています。用語ごとに、一行目に「キーワード」と「読み」を記述します。キーワードの前にはコロンを1つ (:)、キーワードと読みの間にはコロンを3つ (:::) 記述します。定義は次の行から書き始めます。以下に例をあげます。

```
:キーワード:::読み
定義をこの行に書きます。
:キーワード 2:::読み 2
定義をこの行に書きます。この行の定義文は複数行に渡っても大丈夫です。複数行にわたる場合は、改行をいれてもいれなくても問題はありません。
```

## 用語集のインポート

自分のパソコンで用語集を作成してファイルをインポートします。

### 手順

1. 用語集をフォーマットに従って作成
  2. 用語集をインポート
- #### 1. 用語集をファイルフォーマットに従って作成
1. 用語集のファイルフォーマットに従って、追加する用語とその読み、定義を記述します。
  2. ファイルを保存した後、ファイルを WebCT にアップロードします。<sup>1</sup>

<sup>1</sup> ファイルを WebCT にアップロードする手順については、別 Tips : 「コンテンツを WebCT にアップロードする」をご覧ください。

- アップロードしたファイルの文字コードが UTF-8 以外である場合は、ファイル管理で文字コード変換を行います。<sup>2</sup>

## 2. 用語集をインポート

- 用語集を編集モードで表示します。
- 「新しいキーワードの追加」の下で、「ファイルからキーワードをインポート」を選択して Go をクリックします。すると、ファイルからのインポート画面が表示されます。
- ブラウズをクリックします。WebCT ファイルブラウザ画面が表示されます。
- アップロードしたファイルを選択して、ピックをクリックします。すると、ファイルからのインポート画面が再び表示され、ファイル名テキストボックスに選択したファイル名が表示されます。
- インポートをクリックします。すると、インポートの確認画面が表示されます。
- インポートする内容が正しければ、続けるをクリックします。すると、用語集の編集画面が再び表示されます。
- 表示モードにして、追加した用語集が表示されるか確認します。

### 用語集の定義に画像を含める

用語集の定義は、HTML で書くことも可能です。ここでは、WebCT にアップロードしている画像にリンクをはって表示させる方法を説明します。



図 2：画像を組み込んでいる例

### 準備

今回は上の例のような用語定義の作成方法を説明します。用語集にはあらかじめ、以下の用語が登録されているものとします。また利用する画像は、My-Files 以下に img というフォルダを作成しその中に next.gif という画像ファイルが置いてあるものと仮定します。

- \* キーワード ... アクションメニュー
- \* 読み ... (なし)
- \* 定義 ... このコンテンツページの上についているなどと書かれているメニューバです。

<sup>2</sup> ファイル管理で文字コードの変換をする手順については、別Tips：「ファイル管理を使う(文字コード変換)」をご覧ください。

## 手順

- 用語集を編集モードで表示します。
- 「用語集キーワード」の下で、「アクションメニュー」というキーワードの左にあるチェックボックスを選択します。
- 「その他のオプション」の下で、「編集」を選択し、Go をクリックします。すると、キーワードの編集画面が表示されます。
- 定義テキストボックスの中で、画像を追加したい部分に HTML のタグを書きます。画像がある場所を指定するパスはコース ID から記述します。今回の場合は、 となります。<コースID>のところは、ご自分のコースIDを記述します。コースIDがわからない場合は、WebCT を表示しているブラウザのアドレスを確認します。(図3参照)
- 編集が終われば、最後に更新をクリックします。すると、用語集の編集画面が再び表示されます。
- 表示モードにして、追加した用語の定義部分に画像が表示されることを確認します。

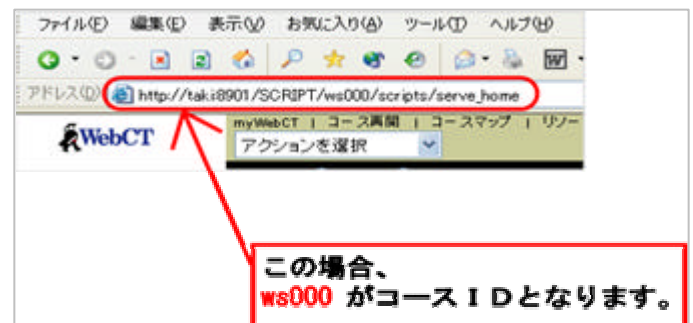


図 3：コースIDの調べ方

ここでは画像を利用する例を説明しましたが、外国語コースなどであれば単語を用語集に登録し、単語の発音を録音した音声ファイルを用意しておけば上記の方法でリンクをはれば発音の学習をすることも可能です。

このTips は以下の環境で確認しました。

サーバ：WebCT3.8 日本語版 / RedhatLinux 7.3

クライアントOS：WindowsXP

クライアントブラウザ：IE6.0SP1

(2003年11月28日 瀧 美渚子作成)